

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

暑さ厳しい日々が未だに続いておりますが、皆様に於かれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、2年半以上に亘る新型コロナウイルスの脅威に加え、急激な物価上昇など皆様の生活が脅かされていますが、様々な課題に対し先ずは安心・安全の確保を最優先に取り組んでまいります。

また、ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた成長戦略の実現に向けて社会は動き始めていますが、愛知県は1872(明治5)年に現在の姿となってから、本年11月27日をもって150年という大きな節目を迎える事から、愛知の将来の発展を牽引する象徴的なプロジェクト(ジブリパーク・愛知県新体育館・基幹的広域防災拠点など6事業)が県政150周年記念事業として選定されました。

その中でも特に11月開園予定のジブリパークの「ジブリの大倉庫」は、大きなものから小さなものまで、ジブリ作品の展示物が詰め込まれた屋内施設であり、ロボット兵にネコバス、更には作品の秘密に触れる展示まで、お楽しみがいっぱいとのことですので、地域活性化の起爆剤となる事を期待しております。

また、県営名古屋空港隣接地での基幹的広域防災拠点の整備も記念事業の一つとして挙げられていますが、東日本大震災発災から12年が経過しようとしており、この間も全国各地で災害が頻発する中、幸いにして本県は大きな災害に見舞われていないものの、南海トラフ巨大地震をはじめ、いつ何時この地域も大規模災害が起きてもおかしくない状況にあります。

従って、本事業の整備によって、災害時に全国からの物資等を円滑に受け入れ、被災現場や地域の防災拠点に迅速かつ的確に供給する体制が早期に整う事も期待しております。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 